



広報

なほ

市民の友

学びたいを応援する

那覇市奨学生募集開始

市では今年度、給付型の奨学金制度を創設しました。学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的な理由で大学などへの進学を諦めることがないように、未来を担う子どもたちの進学と修学を支援します。



※写真はイメージです

制度創設の背景

近年、社会的支援が必要な子どもたちへのサポートが広がっています。

しかし市では、生活保護を受けている家庭の子どもが大学や専修学校などへ進学する率は30パーセント程度にとどまっており、これは市全体の進学率約68パーセントの半分以下となっています(平成28年度)。このことから、子どもたちの大学などへの進学が家庭の経済状況に影響を受けていることがうかがえます。

また、市在住の中学生において、就学援助(市が小中学生のいる家庭に学用品費や給食費などを援助する制度)を受けている割合が約3割にのぼっていることから、子どもたちやその保護者が安心して学び続けることのできるしくみの整備が課題となっていました。

制度の特徴

そこで、市では給付型の奨学金制度を創設しました。本制度には3つの特徴があります。

① 入学金と授業料に相当する額の全額を給付する
(原則として返還不要)

② 高校1年生からの成績評価を行い、他の奨学金制度よりも高い学力レベルを設定する

③ 事前給付を行う

特に、③については入学金や授業料の支払いに合わせたタイミングで奨学金が支給されるため、保護者が一時的に立て替える負担をなくし、子どもたちも学費などの不安を感じることなく学業に専念できます。

また、以前から実施してきた那覇市育英会の奨学金(貸与型)も併用できるので、教材費や生活費については、貸与型の奨学金を活用するという選択も可能です。

進学先は沖縄県内の大学や短期大学だけでなく高等専門学校や専修学校も対象となっています。それにより、将来の職業選択の幅が広がるのが期待されます。

平成30年度 那覇市奨学生募集

6月1日(金)
願書配布開始

奨学生の要件

次の全てに該当する者

- (1) 沖縄県内にある大学などへ進学する者
- (2) 学業成績が優秀であると認められる者
- (3) 経済的理由により修学が困難であると認められる者
- (4) 保護者が本市に3年以上引き続き住所を有している者

応募資格

奨学生の要件を満たし、次に該当する者

- (1) 高等学校などに在籍し、翌年の3月末に卒業予定の者
- (2) 高等学校卒業程度認定試験に合格後1年以内の者で大学などに入学していない者

※平成30年度の募集に限り、大学などに入学していない過卒生も認める。

募集人数 10人以内

給付金額(原則として返済を要しない)

入学支度金……上限 282,000円(1回限り)

修学奨学金……上限 720,000円(年間)



申込期間 7月17日(火)～8月3日(金)

※土・日・祝日を除く平日8時30分から17時まで

自らの力で 未来への扉を 開くために



いつの時代でも「学びたい」と思う気持ちは、誰にも奪うことのできない、人間の尊い権利です。

志を持ち、進学したいと願う子どもたちの思い、また学ばせたいと願う保護者の皆様の思いを叶えるため、今年度、那覇市奨学金制度が創設されたことを本当に嬉しく思っています。

未来を担う本市の子どもたちが、高等教育進学を機会をあきらめることなく、誇りを持って学び、自らの力で未来への扉を開いていくことを、全力で応援します。

そして、私たちの宝である子どもたちを、市民や地域全体で、育んでいきましょう。ゆたさるごとう うにげーさびら。

那覇市長 城間 幹子

お問い合わせ 生涯学習課 ☎ 917-3502

主な紙面

- 「学びたい」を応援する 那覇市奨学生 募集開始 …… 1
- 郵便等投票制度について/環境トピックス…………… 2
- 受けましたか? 予防接種/那覇市ふるさとづくり寄附金の状況… 3
- 情報パック…………… 4～7
- 博物館トピックス/ニュースダイジェスト…………… 8

総人口 322,189人(4,300人)

世帯数 151,168世帯(2,938世帯)

男:156,072人(2,314人)
女:166,117人(1,986人)

※()内はうち外国人
※総人口と世帯数は2018(平成30)年4月末現在

Facebook



LINE



YouTube



Instagram



防災 Twitter



マチイロ

